

京 城 新 報

ずらかべく急し如がく行を道き遠てふ負を荷き重は生一の人

● 二月 中 氣象概況 (三)

(仁川觀測所報)

○風 各地其北又は西の風位最多を占むの平均速度は木浦に最も小にして九米・仁川の八米六之に次ぎ大邱に最も小にして三米二也而して本月中に於ける最大速度は木浦に於ける二十三米五(十一)にして之に次ぐは同日仁川に於ける二十二米六なり又暴風日數に至りては元山の皆無なりしも大邱の三日を除けば孰れも六日以上にして仁川の二十日最も多く木浦の十八日之に次げり既に比すれば釜山元山に於て一二日の過少ななり其其他は仁川、城津の七日を最とし孰れも數日の過多を算す

○天氣 降水日數は各地とも十日以内にありて、京城の八日最も多く、大邱は僅に一日のみ、前月に比すれば南岸及北西部に二日の過多なりしも、其他は元山の九日を最もとし、概ね過少なりき、快晴日數は過十日以上にして、元山、咸津の十五日最も多く、木浦の二日最も少なりき、雪天氣日數は釜山にのみ皆無なりしも、其他は三日乃至八日の間にありたり之を既に比すれば、降水日數は北東部

に四日の過少にして他も亦多く二日の過
少なりき供、晴日數は東岸に過を呈し釜山
の六日最も多く而して西岸は二日以内の過
少或は等しき處あり雪天日數は各地共四日
以内の過少にして特、霧は釜山の最少四日を
除けば他は孰れも十日以上に屬し本月も亦
平壤に最も多くして全月に亘り濃霧は九
日仁川に唯だ一日ありたるのみ（完）

●南阿聯邦創設

△南亞弗利加の憲法草案

▲首府　首府問題は右の二回の聯合會議中の最大難關題たりしが結局一個の首府を置ゆんとは協議雖もならず遂に政府の所在地をプレトリアに立法議會の所在地をケープタウンに置くべしとの折衷案に一應折合ひたるが如しプレトリアと言へばトランスバールの中央、ケープタウンといへば喜望峯殖民地の西の端、官は二省以南阿聯邦の東北端と西南端ともいふべき程にかけ隔てたる所なれば之にて果して聯邦の政務を遂行するに差支ひなかるべきや否やは大の疑

問なり

▲公用國語 には英語と蘭語とを併用す此二國語は均等の權利と特權とを有す

▲司法機關 南阿弗利加高等法院なるものありて其下に殖民地上等裁判所あり後者の判決に對する控訴上告は前者に於て之を行ひ前者の判決に服せざる者は別に特許を得たる時に限り英國樞密院に控訴するとす

●●●●●
▲國債鐵道其他
●●●●●
殖民地が有する各種國債を引受け鐵道は一
大臣及三人の常任諮詢會議の管掌の下に置

地方議會は今後五箇年間爲等教育以外の教育を監督すべし

▲憲法改正 憲法改正は或制限の下に行はるゝ事を得但し國語問題並に代表士選出の基礎に關する規定は兩院議員三分の二以上の同意を得るに非ずは改正するを得

以上は是れ南阿憲法案、大要にて此の草案は三月三十日を以て各殖民地の議會に於て同時に討議せらるべき筈なり此草案に對する南阿の輿論は概して良好なれど獨りナタルに於ては多少不平の聲あり之に大修正を加へて聯邦政府の權能を一層鞏固ならしむるに非ずはナタルは到底聯合中に入り難しと唱ふる者あり又喜望峯には聯邦議會に土人を排斥したる一事を以て喜望峯主

雖（喜望）該會議會にては士人に參政權を與へ居るを以て斯く言ふ）に反する者あられど之は退つた改正せらるべきを見込てさしむる苦情の種とはなるべくも見えずされば結局此の聯合會は多少の修正を経て青丘より殖民地圖會を通過しし問題たりし南阿聯邦も此に自出度く成立を告ぐるに至らんか尤もナタルの獨背に至つては今俄に如何に結局すべきを斷すべからず

俳句

子を捨てる人に見せし雀の子
雀子を嬉しそなる枝移り
雀子の幼稚園かも白の露
竹に渡るだけの戀なし雀の子
並んだる背一腹か雀の子
石段を一つ飛び下りや雀の子
別れ集めて留守と出来ず雀の子

春

朝は猶氣先きの輕し 雀の子
 饅頭とかへて逃がすや 雀の子
 若君と同じ一と間や 雀の子

上

佐倉宗吾

(卅二)

眞龍齋貞水講演

「ナニ、左様な事はなき筈ぢや、まゝなれ
も今日、百姓達の騒ぎ立てます容子にま
なかつて此度の事は、私共参りてし
所が、鎮するべくもございませぬ。先づ
内宗五郎を頼みまししたらば、如何かご存
じます。是まで良百姓は、御先代様のお
を蒙り、御仁政の下に働き、阿ひとつ騒
事もございませぬでしたが、只今の御政
は、それと打つて變つて……」左「ナニッ

「いや、それ以上の方の御悪いのでございます。それが、百姓は何かにつけて苦しめられる子、困つた事でございます……イヤ、只の仰せは、心得ましてございます、私か」

内宗五郎を頼りませう」とそれなく、城代
女番、牧屋越前、郡役坂上、根太、村岡幸
藏などの座列が揃って一層ちよつと苦い事
を云つたので、一同胸に五寸打を打込まれ
たやうな心持でございませうが、幸「イヤ、希
かた憐れたいでくれぬ、甚」としては私が是
を引取新田田主と参りませう」と城代の原歌
を引取新田主と参りませう」と三浦幸藏「七十三歳の老の
身を厭はず、希此勤動を望みたいと、生懸命に是から公津利木内宗五郎の處へ乗
込んで來ました
茲にちよつと御前より申します、此度、京
城幕府の社目が、良水方へ光來られまし
て、何うも佐倉義兵衛に就いては、成るな
け讀者の氣に違ふやうにしたいと云ふ相談

[illegible]

(Calligraphy)

[illegible]

と家屋、其兵衛の渡、佐倉の町、將門山神の屋、宗吾の藏、佐倉の城、宗吾の藏像、と伊東登吾と共に撮影に來る者、木之と新聞の捕奪の共に加へて、讀者に御足と與へると云はれました、京城新報社、清水の講談、御描戲になるに就いて、斯くまで、一層光彩御添へ下さるに就いて、貴水も未熟ではございますけれども、本

本
 今
 容
 じ
 ます、故に今までの佐倉宗五郎の如く
 面白味の点に就いては、如何かは知りま
 ねけれども、必ず事實に近い、間違のない

やうに演じますから、偏に御愛護を願ひます、殊に私は、御地の知名の御方々には、東京に於きまして、毎度御負負を蒙つて居りますか、多くの御愛護御諸君には、初めからの事でありますから、貴水の拙い口調が、或は御意に過はぬか知らぬが、其處を枉げて云々、大和魂の有る所でございますから、御幸御愛護を願ひます、就ては今迄は、宗五郎の宗と謂ふ字は、ムナ宗を背きまゝだが、實地を申上げると、サウはモノ惣惣の方であります、貴水は是から前途はモノ惣の本統の方で、即ち惣五郎と改めて御幸し致しますから、左様に御熱愛を願ひたい此ムナ宗に間違ひましたのは、堀田家の事

根から、惣ておすべきを宗として仕舞つたこと
 でありませう。故にモノ物の方が本統でござ
 います。追々譲渡いたします内に、其眞
 實が確かに成つて参りましたから、左様御承
 知を願ひます
 さて内惣五郎は一室の内で、惣て大鐘
 な事が出来した。此程より運上取立の盛ん
 き所より、惣へ事ここにと及んだと見るる
 我身にも及ばず事でないか知らぬと、病み

房のた美禰が「美」旦那様、（美）「美」只今、（美）「美」
 三浦殿が御光来でございます。徳一、左様
 か、サア此方へ御案内をしてくれ。美「三浦殿
 れでは此處へ御案内を致します」と女房等
 な美禰が「美」三浦殿、希ぞ此方へ御通
 り下さいまし。基「ハイ、ハイ、イヤ御免下
 い、イヤ毎時ながら皆様御揃ひで……オオオオ
 子供共も皆な類しく御揃ひで……」
 と腰を屈めて、徳香の居室まで通らふと

るど 惣春は一室と立出でた

廣 告

解雇廣告

店員 岩田滿次郎

右之者今般般合に依り解雇致候但今弊店
一切關係無之候間此段廣告候也

京城市明治町二丁目

富士商會

(小杉)

會員募集

英語教授 毎日(午後六時より九時まで)

龍山京町八番目 巴商行内

元陸奥將校園教授 宮崎 繁次

仁川宅支店

京城龍山は韓國の中心なり此中心に在
つて牛島經營の重任に當らるゝ紳士の
紹介を爲すは本書なり

京城理事廳認可

京城紳士録

定價 一圓
豫約特價 金壹部
申込期 限
送本 期 日

金 五
月 十
六 日

スロク總本製
入字文金

集
 登載事項
 本紳士錄(交詢社式)には京城龍山在住の日
 韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へ
 は公私實務者の坐右に欠くべからざるもの
 に有之候
 發行所 京城新報社

[illegible]

測量 製圖 器械 文具 鉛筆 賣商

平壤南門通二丁目(長電話三四一番)

篠崎半助支店

本店に於て發賣する測量製圖器械は韓國人使用器械の元祖にして尤も韓人に適するものなれば小賣部希望の方は特別の御相談に應ずべく尚御一報本館御買價格表御送附可申候

京

金 四

常 磐 木

城 廣 江 商

シガール・ブドウ酒・ブランデー・洋菓
シレット・シヤンピン・ウ井スキ・キリンビール・タンサン水
卸中賣
歌米雜貨
洋酒食料品
洋燭草類
銀金屬美術品
直輸入商
京城本町二丁目
同三丁目
本店電話二四八番
支店電話三六六番
辻屋

[illegible]

加するに垂るべしと云ふ

●漁村占領事件
 報の香港電報に據れば清國軍艦は再び東
 島を訪ひ清國國旗を漁人の家に樹て、廣
 東に歸着し總督に對し日本との協議を開始

不知火旅館に投宿せり
大木安之助(平南書記官) 同日山本旅館

時尾工兵大佐(統監府營林廠長) 同日入
京巴城館に投宿す
森俊藏(砲兵少佐) 十七日歸任
依田鈺太郎(石川縣事務官)同日仁川に向
窪田文三(牛莊領事) 同日離任

●近事片々

●頃者 内部に於ては韓國の名所古蹟の調査
●登呂は成れりと之れ甚だ趣味ある事ぞかし
●斯る事は閑事業なるが如く思ふものあり

▲河川に概して橋梁多く一々膝を没して

▲京城のみに見て居る人々には地方の状況は
進も想像にも出来ず地方の改善こそ急務也
●閔宮相歸城して百官之を出迎ふ偕も東

●餅し ● 彼も亦凄き腕を持つ人決して通算

▲ 閨氏 と小宮氏とは好き組みなり其差
和にして伶俐なる所甚だ相似たりとの事也
▲ 李完 用其後の動靜甚だ振はざるも矢張

● 醬からに香か沙さ汰たなかりし李址谿君近來

た持病が起しか活動を始めたりどの説か
▲最早 宜加減に歸らむるが肝要なり君の
時代は既に三年以前に過ぎ去れり反省せ

●伊藤公を勸し太皇帝をも三寸不爛の

頭に動したる貞夫人は最早堅氣の婦人たる久邇宮殿下土都君府を訪はせ玉ふ士は盛に殿下を迎へて喜で御物語りありし

害 凋落す同くなく心細き感は起り来るを

1	2
3	4
5	6
7	8
9	10
11	12
13	14
15	16
17	18
19	20
21	22
23	24
25	26
27	28
29	30
31	32
33	34
35	36
37	38
39	40
41	42
43	44
45	46
47	48
49	50
51	52
53	54
55	56
57	58
59	60
61	62
63	64
65	66
67	68
69	70
71	72
73	74
75	76
77	78
79	80
81	82
83	84
85	86
87	88
89	90
91	92
93	94
95	96
97	98
99	100

東局上野原小路有飯屋名飯内重

